

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリー	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																	
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則（第17条）、育児・介護休業規程（第22条）に明記。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「アークスグループハラスメント防止方針」、「アークスグループパワーハラスメントガイドライン」を明記。 ・ハラスメント研修の実施。 ・ハラスメントの相談窓口の設置。						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。										8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。					4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・安全衛生管理規程の整備、安全衛生管理体制を構築している。 ・安全衛生委員会の実施、社員向けの労働安全講習会の実施。						3				8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・メンタルヘルに関する方針と計画の策定。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「心の健康サポート」「メンタルヘルス相談窓口」を明記。						3												
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・アークスグループ・フィロソフィーに「ダイバーシティの推進」を明記。 ・多様な人材の活躍状況をグループ広報誌等で積極的に発信している。 ・【予定】「くるみん認定」取得を目指す。 ・【予定】「えるぼし認定」取得を目指す。 ・障害者の雇用促進体制の構築を行っている(栃木県教育委員会より特別支援学校の教諭の内地留学受入、特別支援学校の生徒のインターンシップ受入)。 ・2022年障害者雇用優良事業所として高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞を受賞、法定雇用率3.68%。							5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・従業員のLTD制度（給与保証）導入。 ・【予定】健康経営優良法人認定（経済産業省）を目指す。						3				8								
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・職場や役割に応じた研修体系の整備と実施。										4		8	9					
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。											8.5		10.2 10.3					
	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している。 ・トレーの回収による再生トレー利用の実施、使用済み紙パックの回収によるリサイクル、廃油の回収によるリサイクル、ろ過機導入により廃油の削減等の施策を行っている。 ・野菜くずの宇都宮動物園への提供、食品くず（野菜・弁当等生ごみ）のたい肥化 ・「てまえどり」「食品ロス削減」「恵方巻ロス削減」の啓発活動 ・食品ロス・廃棄の発生抑制													11.6		12.3 12.4 12.5			14.1

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリー	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																		
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・納品期限緩和による食品ロスの削減（「3分の1」ルールから「2分の1」ルールへ変更）。						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・「品質保証規程」を定め、自社製造製品の品質保証体制を構築。 ・バックヤードに夜間オゾン水散布による殺菌（感染症予防対策）。			3.9										12.4						
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・「品質保証規程」を定め、自社製造製品の品質保証体制を構築。 ・お客様の声については、四半期毎取締役会に報告。											9								
製品・サービス	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・FSC認証製品の販売・売場表示。 ・MSC、ASC認証製品の販売・売場表示。							6							12	13	14	15		
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・子会社の㈱オータニ農場で小松菜、ケール、ひもとうがらしの生産。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・地域との対話に基づく、事業の地域への影響の把握。 ・アークスグループのコーポレートステートメントとして「豊かな大地に輝く懸け橋」を定めて、地域にドミナントエリアを築き、多くのお客様に対して新鮮で、安全・安心な食品を提供することにより、生産地とお客様を結ぶ懸け橋になりたいと思いをアークスグループ・フィロソフィーに明記。 ・こども110番の家パネル設置。 ・中学生を対象とした職場体験学習の受入。				4							9		11	12		14	15		17
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・「栃木県との災害時における応急対応業務の実施に関する協定」提携による緊急物資支援。 ・独立行政法人国立病院機構栃木医療センターと「災害時における食料品等の協力・支援に関する協定書」による緊急物資支援。 ・上三川町見守りネットワーク事業協力に関する協定書締結。 ・宇都宮市社会福祉協議会実施の「ぎんなん募金」の協力。 ・公益財団法人東日本盲導犬協会実施の「盲導犬募金」の協力。 ・栃木プレックスのオフィシャルスポンサー。 ・栃木サッカークラブ応援基金自販機の設置。				4								11			14	15		17	
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・毎月18日は「とちぎ地産地消の日」として推進。 ・地場野菜コーナー、地場生产品コーナー等を設営。									8	9		11	12	13					
	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している		○		基本	・アークスグループ運営方針に「情報の公開とコンプライアンス」を明記。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「個人情報保護法」「独占禁止法」「下請法」「景品表示法」「食品表示法」「食品衛生法」「いのちを守る食品表示」を明記。 ・コンプライアンス研修の実施。																		16	
	36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・グループ経営理念を明文化している。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「SDGsの推進」を明記。 ・サステナビリティアクションプランシートを策定し、適時、目標、進捗状況を取締役会等で共有。									8	9								17	
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・アークスグループ・フィロソフィーに「コンプライアンス」（CSR、公益通報者保護法、コンプライアンス5つの視点、内部通報窓口等）を明記。 ・法令遵守（コンプライアンス）の方針、体制の整備。 ・内部通報規程により内部通報制度、社外通報窓口の整備。																		16	
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・サステナビリティ推進委員会を設営。																		16	

